

### スクラムを組んで!

## 寄居町青少年健全育成町民会議

寄居町青少年健全育成町民会議（野口茂会長）では、青少年健全育成を広域的、総合的に推進するために、町内の学校やPTA、民生委員・児童委員などの青少年関係団体・機関と連携し、活動を展開しています。日々の活動から感じたことなどを、それぞれの立場からメッセージとしてお寄せいただきました。

■問い合わせ  
生涯学習課（☎581-2121内線532）へ。



寄居町青少年健全育成町民会議  
会長 野口 茂

### 子どもたちの健やかな成長のために

寄居町青少年健全育成町民会議は、次代を担う子どもたちが健やかに成長することを願い、青少年関係団体が一体となって活動しています。本年も青少年の非行被害防止特別強調月間キャンペーンや視察研修、広報活動などを通して、青少年の健全育成を推進してまいりました。

10月に実施した視察研修では、栃木県の宇都宮少年鑑別所を訪問しました。少年鑑別所は、家庭裁判所で審判を受ける予定の少年を一定期間収容し、審判までにその少年の性格や考え方の特徴を把握したり、時には精神疾患や障害等の有無について調べる場合に入所します。実際に足を運んでみると、各部屋や通路は施設され、運動場も塀に囲まれているなど重々しい雰囲気を感じましたが、職員の方々からは入所した少年たちと正面から向き合い、少年たちの心に寄り添い守ろうという姿勢を感じました。研修は少年たちの現在の非行情勢や現場の声に触れ

ることができた充実したものとなりました。

また、広報活動として、広報よりい「いじめ撲滅強調月間」、「自画撮り被害防止」などの記事を掲載し、インターネットの正しい利用やいじめ防止を呼びかけました。近年、青少年のネット利用やいじめに関する問題が取り沙汰されることが多々ありますが、それらはどうしても大人の届かない所で起こりがちです。トラブルが起こらないようにするためには、子ども自身のモラルが重要となってくるのではないのでしょうか。「子は親を映す鏡」という言葉もあるように、周囲の大人たちが手本となるよう背筋を正して生活していくことで、子どもたちのモラルを育み、健全な成長を促すこともできると思います。

### ありがとうの心を育む

普段、あたりまえに感じていることをふと立ち止まり見つめなおすと、そのありがたさに気づくことがあります。ありがたさに気づくと、今まであたりまえと感じていたことがあたりまえでなくなります。本校では、日々の生活の中にあるありがたさを子どもたちに気付かせ、感謝の心を育てています。その取り組みの一部を紹介します。

「ありがとうの花」  
今年度から、児童が自分たちの手で花の種をまき、種から花を育てています。ボランティアの児童が昼休みなどに活動し、苗を育て、パンジー約1,000鉢と葉ボタン約800鉢をつくることができました。校内の花壇に植えるだけでなく、この花を子どもたちが普段お世話になっている見守り隊や読み聞かせボランティアなど、地域の方々から感謝のメッセージを添えて差し上げました。地域の方々からはお礼のお言葉やお手紙をいただきました。地域の方々とのこのような交流の中で子どもたちにありがとうの心を育てています。

「ありがとうの木」  
本校では各学年掲示板に「ありがとうの木」を掲示しています。これは、大きな木の絵に葉を形取ったメッセージカードを貼るものです。メッセージカードには日常生活における級友との関係の中でうれしく思ったことや心が温くなったことなどが書いてあります。これにより、子ども同士が互いにその言動を認め合うことで、ありがとうの心を育てています。

心を育むということは容易なことではありません。今後も家庭と協力し地域の方々のご支援を賜りながら、職員一丸となって子どもたちを健全に育成していきたいと考えています。



城南地区児童生徒健全育成協議会  
会長 吉田正博

### 感謝の気持ちを声に

次代を担う青少年が、心身ともにたくましく健やかに成長することは、全国民の願いです。青少年をめぐる昨今の状況は、いじめや少年犯罪等の深刻化など、多種多様な問題が発生しています。そんな中で青少年育成に求められる大人の役割は、明るい家庭づくりや、青少年の育成を阻害するさまざまな問題を解決し、健全な社会環境づくりをしていくことだと思っています。

町内の各地域においては、児童・生徒の安全を守るため、地域ボランティアの方々に登下校時の見守り活動にご協力をいただいています。地域ボランティアの方々には、子どもたちの健やかな成長のために献身的にご尽力をいただいていますことに、改めて感謝と敬意を表したいと思います。そして今後も、さまざまな健全育成活動を通じて、学校と保護者、地域の皆様と太いパイプをしっかりと繋ぎ、お互いに信頼関係も築いていければと思います。

これからは、地域の宝である子どもたちのために、昨今を取り巻く環境の変化に敏感になり、保護者を含めて地域全体で見守っていくことが大切であることを改めて確認していただきたいと思います。そして、このような地域の活動においてボランティアの方々を見かけた際には、保護者である私たちも感謝の気持ちを忘れずに、気持ちを声に出してみたいと思います。

- 11月 青少年育成埼玉県民会議 発足50周年記念式典  
前会長の矢部伸昭氏が、50周年記念青少年育成功労者感謝状を受賞されました。
- 広報活動  
4月の「春のあんしんネット・新学期一斉行動」や11月の「いじめ撲滅強調月間」、1月の「自画撮り被害防止」等の記事を広報よりいやや町公式ホームページに掲載するなど、広報活動を積極的にを行いました。
- その他  
寄居地域防犯大会への参加など、今年度も地域に密着したさまざまな活動に取り組みました。
- 7月 青少年の非行・被害防止 特別強調月間キャンペーン  
町内3中学校区の児童生徒健全育成協議会とともに、町内の駅前等でキャンペーン活動を行いました。3日間で延べ104人が参加し、青少年の非行・被害防止を呼びかけました。
- 10月 視察研修  
栃木県の宇都宮少年鑑別所を訪問しました。近年の少年非行情勢についての講義や施設内見学を行うなど、充実した研修となりました。
- 寄居町青少年健全育成町民会議 平成28年度活動報告



▲青少年の非行・被害防止特別強調月間キャンペーン（城南地区）の様子 ▲見守り隊の方に「ありがとうの花」を手渡す男衾小学校児童 ▲宇都宮少年鑑別所視察の様子